

## 令和 3 年度事業活動報告書

当 NPO は、平成 21 年設立以来、以下に要約する政策提言、自主研究、受託研究、セミナー・講演の活動を行ってきた。

政策提言	宇宙基本計画に係る提言（内閣官房宇宙開発戦略本部事務局） 安全保障のための宇宙利用推進（自民党宇宙総合戦略小委員会） 安全保障のための MDA（自民党、内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る海洋状況把握（内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る宇宙からの MDA（防衛省） 将来を見据えた宇宙政策の在り方（防衛省防衛政策局長 平成 4 年 4 月）
自主研究	デュアルユースの研究（平成 21 年） 海洋監視衛星システムの研究（平成 21－23 年） 射場システムの研究（平成 27－28 年） 安全保障衛星と MDA の研究（平成 28－29 年） 地球観測・監視プログラムの推進体制（平成 29－30 年） みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社との研究（平成 3 年）
受託研究	ALOS-1 が撮像した船舶画像の解析（経済産業省、平成 23－26 年） 海洋への衛星利用の研究（海洋政策研究財団、平成 24－25 年） リモセン法基礎調査支援（内閣府宇宙戦略室、平成 27 年） 射場課題の体系的整理（同上、平成 27－28 年） 安全保障に係る宇宙からの MDA に関する調査（防衛装備庁、令和 2 年） 将来を見据えた宇宙政策の在り方に関する調査・研究（防衛省戦略企画課令和 3 年）
セミナー	海洋と宇宙の連携セミナー（平成 26－28 年）5 回

※1 組織名称は、当時のもの

※2 赤字は令和 3 年度実施の事業

令和 3 年度に実施した主な事業の概要は次のとおりである。

### 1 受託研究

防衛省による「将来を見据えた宇宙政策の在り方に関する調査・研究」を受託し、同調査・研究を実施、報告書を納入した。作業経緯は以下のとおりである。

- ① 公告日 令和3年12月2日
- ② 入札・開示 令和4年1月13日
- ③ 中間報告 令和4年3月9日
- ④ 成果報告 令和4年3月29日
- ⑤ 成果納入 令和4年3月31日
- ⑥ 関係会社からの聞き取り 三菱電機 令和4年2月25日  
アークエッジ・スペース 令和4年2月28日

## 2 政策提言活動

第1項の受託研究の成果に関して、特に当NPOが重要だと思われる事項について、防衛省幹部に対して以下のとおり、提言活動を実施した。

増田防衛政策局長 令和4年4月21日

## 3 自主研究

令和2年度と同様に、みずほサーチ&テクノロジーズ株式会社と「安全保障と宇宙利用」について自主研究を実施した。研究半ばで防衛省から第1項の役務を受託したため、自主研究を防衛省受託研究に変えて実施した。

共同研究の実績は以下のとおりである。

- ・令和3年10月25日
- ・令和3年11月19日
- ・令和3年12月3日
- ・令和3年12月7日
- ・令和4年1月26日
- ・令和4年3月22日

## 4 シンポジウムの開催について

令和3年度に実施予定であったシンポジウム「安全保障と宇宙利用」は、コロナの影響により、令和4年度（令和4年11月22日）に延期した。

詳細は、事業計画のとおりであります。

## 5 会員の勧誘活動

個人会員及び団体会員の勧誘を積極的に行い、新規会員を獲得できた。

令和4年10月現在の会員状況は別紙のとおりであります。